

巻 頭 言

近年の生命科学の著しい進歩により、薬学領域で必要とされる知識と技能は膨大となり、生命倫理に対する理解も社会から求められるようになりました。また、医療の担い手である薬剤師に対しては、医療チームの一員として、問題解決のための深い知識、より質の高い技能と医療人にふさわしい態度・倫理性が求められるようになってきました。このニーズに応えられるように、平成18年度より薬剤師の養成を目的とする薬学教育の年限が6年に延長され、問題解決型学習や医療現場での参加型実務実習など、専門的な臨床能力を培った薬剤師を育成する新たな教育プログラムが導入されました。

本薬学部は薬学教育改革に積極的に取り組み、「至誠一貫」の理念のもと、医・歯・保健医療学部と密接な連携を取りながら、医療の担い手として社会に貢献できる薬剤師の育成を目指して、特色ある新カリキュラムを実行しています。6年制カリキュラムは、日本薬学会「薬学教育モデル・コアカリキュラム」および文部科学省「実務実習モデル・コアカリキュラム」に準拠した内容と、本学の特色を生かしたオリジナルな内容から構成されています。参加型のオリジナル科目をはじめ、医系総合大学ならではのメリットを最大限に活かし、薬学を専門領域とするプロの医療人を養成します。本学独自のチーム医療学習プログラムを通して、各自が修得した薬学に関する知識・技能・態度をチーム医療に活かす実践力を磨くとともに、医療において薬学が果たすべき役割を実感していきましょう。

「昭和大学薬学部カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）」、「ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針、卒業時の達成目標）」、「昭和大学薬学部学生が卒業時に有している能力（コンピテンシー）」を制定しており、シラバスに掲載しています。特に、卒業時までには修得すべき7つの能力（コンピテンシー）を確認し、達成目標として積極的に学習に取り組んでください。なお、今年度より2年生の学年歴が、3月より始まることとなりました。オリエンテーションに加えて授業も3月開始に変更し、新たな年間スケジュールで講義・実習等を行います。また、ディプロマポリシーの一つである「薬物治療の実践と評価」の到達水準を高めるため、「薬と疾病」（講義・PBLチュートリアル）や6年前期選択科目（実務実習アドバンスト科目）の内容の改善・充実を図ります。

学生諸君は本シラバスで各授業科目の内容を確認し、本薬学部の特色である多様な学習の機会を生かして自ら学習する姿勢を身につけ、良き医療人を目指してください。

平成26年4月

薬学部長 山 元 俊 憲